

6  
JUN.

# 広報 あおば

第5号

2022年6月15日発行

●発行：青葉台町会協議会  
市原市青葉台2-24-9  
●編集：広報委員会

## カフェ青葉ノアール リニューアル オープン!!

5月19日(木) 青葉ノアールがリニューアルオープンしました。カウンターとライトの模様替えがされ、壁には小学生の絵画の受賞作品が展示されています。店長は、間野さんから佐藤さん(4丁目)に交代され、皆さんが来店し易いようにメニューもリニューアル。



新メニュー  
誕生!!



▲壁面には小学生の絵画の受賞作品が展示

▲台湾ミンチ丼

いま人気の駄菓子とはコレ▼



▲カウンターエリアも一新



▲駄菓子コーナー

よりリーズナブルなメニューとなっています。また子供たちのために駄菓子コーナーも設置され、小中学生も気軽に立ち寄れるように。さっそく多くの子供たちが遊びに来ているそうです。今回、台湾ミンチ丼を頂きましたが、甘辛いそばろと卵、ニラ、韓国のりとの相性が良く、やみつきになる美味しさでした。開店日時は、月曜日～金曜日の10時～17時に変更となっています。地元の皆様の憩いの場としてご活用ください。(佐藤)

## AOBADAI SCHOOL CHALLENGE WEEK開催!



▲イベント参加者でハイポーズ



▲懐かしの「写ルンです」で撮影会



▲青学の皆さんにボランティア参加修了証を



青山学院大学のボランティアサークルと青葉ノアール(間野さん)企画のワークショップが4月30日から5月5日まで子供から大人までを対象に青葉ノアールで開催されました。大学2、3年生9人のうち3人が日替わりで各セッションを受け持ちます。主なセッションをいくつか紹介します。

- ・「好きな本を持ち寄ってビブリオパーティー」  
本の紹介を5分間で行い、みんなで一番気に入った本を選びます。今回、姉崎から参加された住職Mさんの「ゼロ秒思考」がチャンプ本になりました。
- ・「英語の歌をうたってみよう！」  
英語で自己紹介、ゲームの後、アニメ映画「アナと雪の女王」で有名な“Let It Go”を歌います。
- ・「空き缶飛行機を作ろう！」  
350mlのアルミ缶側板を使います。胴体、翼、尾翼、

プロペラの部品原型を形取りして、はさみで切り取り、組み立てるとカッコいい複葉機の完成です。



- ・「写ルンです!カメラ教室」  
一頃流行りましたカメラ「写ルンです」で写真撮影。青葉台を歩いて回り27枚撮り終えます。現像して最終的にはコラージュ風に仕上げます。
- ・「手作りかしわもち！」  
姉崎高校生徒会の皆さんの参加応援も得てオリジナルかしわもちが、でき上がりました。参加された皆さんは、のべ130名になりますが、青葉台が何か変わろうとしている風を肌で感じられたと思います。青山学院大学9人の皆さんには、まちづくり委員会からボランティア参加証明書が授与されました。(藪木)

## 2年目を迎えたohanaいっぱい活動



分野:美しい街づくり  
課題:ohanaいっぱい活動

“ohanaいっぱい活動”もまる一年が過ぎました。町の皆様方の当活動に対する評価は如何なものでしょうか？3月、4月と春の花を十分堪能していただけたでしょうか？

一年中花の美しい状態を維持するのは不可能で、植え替えれば花が咲くまで時間がかかります。花の咲いた苗を植える場合は、即美しい状態になる場合もありますが、幼苗を植えれば花が咲くまで待たねばなりません。さてその苗なのですが、“ohanaいっぱい活動”では一年間に約2千株の幼苗が必要です。その幼苗の育苗の多くは



▲今年も青葉中央通りに優しい春の香りが漂っていました

“ohanaいっぱい活動”のメンバーと町会からの育苗協力者によって実施されています。苗を買ったら莫大な費用がかかります。育苗を自分達ですることにより、相当の経費節約ができています。市からの援助で苗をいただく例も少しありま

すが、ほとんどは育苗協力者の自宅で苗を育てています。お花の好きな方、またはこの活動に興味のある方、ほんの少しの自由な時間(週1時間、月1時間)でもよいのでぜひ参加してみてください。良い仲間ができて、良い時間を過ごせると思います。(石原)

連絡先 浅野:0436-61-5946

## 空家管理センター説明会 及び市原市耐震出前講座



分野:美しい街づくり/課題:空家・空地の有効活用

×初のコラボ企画

分野:犯罪と災害に強いまちづくり/課題:地区防災計画

●6月4日(土) 13:00~15:00自治会館集会所

空家・空地管理センターと防災サポートチームのコラボが実現しました。昨年11月~12月にかけて行いました空家管理センター説明会が、今年度も自治会館で行われました。

今回は、昭和56年の耐震基準以前に建てられた家屋が2020年にサポートチームが行ったアンケート調査で39%あることを踏まえて、自助の推進を図るため市建築指導課の出前講座を企画したものです。

まず、空家・空地の有効活用チーム早崎リーダーから、**将来空家になる世帯については空家バンク登録をしていただき、所有者の方との連絡が取れ空家対策が取りやすい仕組みづくりを目指している内容の説明がありました。**続いて、市の出前講座では**30年以内に70%の発生確率といわれる首都直下型地震に備えて、木造家屋の耐**



▲市原市建築指導課の出前講座風景



▲耐震構造模型

▲耐震補強の有無比較

震補強の方法について解説がありました。

- ・筋交いを壁に入れる。
- ・外れないように接合金属で止める。
- ・壁に構造用鋼板を取り付ける。
- ・基礎とアンカーボルトで繋ぐ。

……等の方法で補強します。

補強をしている場合とそうでない場合の、テスト動画があり補強の有無が生死を分けることが分かります。補強を行うためには**精密診断を受診することが必要ですが、市の補助があり5千円で受けることができます。**また、建築指導課では、木造住宅無料診断相談会を各コミュニティーセンター(耐震化推進係)で行っていますので、お申し込みください。TEL:0436-62-9091まで。

